

BSOの 情報てんこもり

2023年7月31日号

制作・発行：(株)BSO 支援企画部

TEL：(06)6351-5836

～ タイムリーな情報を、いち早く皆様にお知らせします ～

◆西山語録①「手法の面白さ」

我々が産業活動で使う手法とは、先人たちが残してくれた経験を知的財産化したモノのひとつであり、自然の法則から出て来たものではない。天才的な人や経験豊富な人は、この手法を無意識のうちに身に付け、活用することが出来る。

手法を活用することで、効率的に目的を果たしたり、目的を果たすためのプロセスを明確にしたり、関係する人が分担して作業が出来たりなど効能は沢山ある。

その中のひとつになると思うが、私は「全ての手法の活用で新発見するものがある」という喜びを経験している。これがない時は、その手法の使い方が間違っているのではないか、という見方をし、再度手法について勉強し直すことにしている。

◆ベトナム工科系大学2校と人財の育成・活用の連携活動を締結

ホーチミン市交通運輸大学とホーチミン市技術師範大学は、土木工学および建築工学を中心に多岐にわたる工学の分野で多くの実践技術者を輩出してきました。この度、BSOはこれらの2校と連携し、日本産業に適応する人財の育成と活躍の場を提供するための取り組みを始めることになりました。

BSOは7年にわたり実践的な研究を通じて、高度人財の育成と活用に取り組んできました。今回の連携締結により、専門知識と実践的な経験を組み合わせ、日本産業における活躍の場を広げることを目指します。

早速、8月にインターンシップ生が来日します。今回のインターンシップでは、日本のモノづくりの素晴らしさである「固有技術」「協働力」「生産技術」「向上心」を実際の体験を通じて学び取る予定です。



◆西山語録②「人の存在価値は何で決まるか」

「努力」×「ロマン」×「求められる」。この3つのなかには重要な部分があるが、直感的に、この3つを感じさせる人は共感され、一緒に生きていきたいと思う。

反対に、「信頼関係が作れない」×「自分勝手な真面目さで役割を果たさない無責任」×「他責」×「感謝の気持ちを持たない」。このような人は、自分は一生懸命に頑張っている、損得で生きて行かなければならず、悪性のストレスで自己破滅的な生き方になり、一緒に生きていく気になってももらえない。

◆「企業価値を高める企業づくり」

会社が何で評価されているかを知っておく必要がある。自分たちの会社を如何に値打ちのある会社にしていくかが一番大切なこと。そして、時代的激動の現代、将来性のある会社、企画力をもった会社にならなければいけない。企業は「生き物」である。常に若さ（挑戦）を追求しなければ老化してしまう。（7/11開催C21プロフェッショナル・トップ研究会より）

詳しい記事やその他の情報は、BSOのホームページ <http://www.bso.co.jp> へ

情報てんこもりは、弊社の協働活動（受託事業・企画事業・出版事業）のタイムリーな情報をいち早く多くの方々を知っていただく為に発信しております。（お問い合わせはshienkikaku@bso.co.jpまで）

